

第3学年 道徳科学習指導案

第3学年1組 18名

指導者 吉田 和代

1 主題名 広い心で

B-(10) 相互理解, 寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること。
--------------------	---

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

失敗は誰にでもあるもので, 人は失敗から学ぶことが多い。しかし, 自分の失敗を認めたくない気持ちから, 他人のせいにして自分の心の安定を図ろうとする心理が働くことがある。まして他人の失敗で自分が迷惑を被ることになれば, それを許すという心はなかなかもてるものではない。しかし, 失敗は誰にでもあるということが本心から分かっている、「たまたま今回失敗したのは相手であって, もしかしたら自分の失敗で, 立場が逆転していた場合もあるかもしれない」と考えられるならば, 相手を許すこともできるようになる。

そこで, 「広い心とはどういうことか」を考えることで, 自分に対する謙虚さと人に対する寛容な心をもつことの大切さに気付かせ, 広い心をもって生活していこうとする態度を育てたいと考え, 本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は, 明るく元気で, 男女関係なく遊んだり, 協力して係活動をしたりしている。1学期に比べ, お互いに自分の考えや意見を相手に伝え合い, 協力して活動する姿が多く見られるようになってきた。一方で, 話し合いの中で自分と異なる意見を容易に受け入れられなかったり, 勝敗や出来映えに関わる活動で友達の失敗や過ちを許すことができず感情的になったりすることがある。

そこで, 相手の思いを理解すると共に, 失敗することは誰にでもあり, それを許せる心をもつことの大切さに気付かせ, 広い心で友達に接しようとする態度を育てたい。

(3) 教材について

(教材名「わたしだって」 出典: 光文書院)
大切な作品を不注意によって友達に汚され, 謝ってもらっても許す気持ちになれない主人公。しかし, 後半で主人公が汚してしまう立場へと転じる。どんなに謝ってもらっても心から許す気持ちにはなれなかった主人公が, 自分が失敗した側に立ち, 広い心でそれを許してもらえたことで, 自分に欠けていた心に気付く。

自分も過ちをすることがあると自覚し, 自分に対して謙虚であるからこそ他人に対して寛容になることができ, 広い心が生まれるということを考えることのできる教材である。

(4) 語り合い・深め合う学びのための工夫

導入段階では, 「広い心」に対してもっている考えを自由に発表させ, イメージマップにまとめていくことで, 今もっている価値観やイメージを確認したり共有したりし, 展開(3)の学びの実感へと結び付ける。

展開段階では, まず資料の中で, 「いいな」「すてきな」など「広い心」を感じた場面絵にハートカードを貼り, 一人一人の価値の捉え方を表出させる。中心発問「どうしてお姉さんは, 許すことができたのでしょうか」では, ノートに自分の考えを書いた後, グループで考えを交流し, 全体での話し合いにつなげる。板書では, けい子とお姉さんの違いを考えやすいように分けて書き, 出来事とそれに対する気持ちを対比できるように, 構造化してまとめていく。展開の各場面での話し合いにおいて, 「広い心」について考えたことをイメージマップに書き加えふくらませていき, 本時の学びを視覚的に感じ取ることができるようにし, ねらいとする道徳的価値に迫る。

3 本時の学習

(1) ねらい

広い心をもつとは、自分も過ちをする存在であると自覚し、相手の立場でも物事を考えるということを理解するとともに、広い心をもって生活していこうとする態度を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価
導入	1 広い心とは、 どういうことか を考える。	○広い心とは、どういうことでしょう。 ・やさしい ・うれしい ・楽しい	○イメージマップで児童の 考えを表し、道徳的価値 へ方向付ける。
		広い心とはどういうことか考えよう。	
展開	2 資料「わたし だって」を読ん で話し合う。 (1) けい子の気 持ちを考え る。 (2) お姉さんの 行動を支える 気持ちや考え 方を考える。 (3) けい子の気 持ちがどのよ うに変わるか を考える。	○「いいな」「すてきだな」など広い心を感じ たところにハートカードを貼りましょう。 ○ずっと黙ったままのけい子は、どんなことを 考えていたのでしょうか。 ・やめてよ。どうしてくれるの。 ・もう少しで完成だったのに…。悔しい。 ・どうしよう。元にはもどせない。 ・許したいけど、やっぱり許せない。 ◎どうしてお姉さんは、けい子に謝ったの でしょう。 ・けい子のほうが心配だから。 ・責めたらかわいそうだから。 ・自分も失敗もするから。 ・自分も気を付けていたらよかったから。 ・相手のことも考えたいから。 ・相手を許したいから。 ○帰りの車の中で、けい子はどんなことを考え ていたのでしょうか。 ・許してくれてありがとう。 ・修に謝りたい。・許してあげたらよかった。 ・わたしも失敗するときもある。 ○「わたしだって」に続く言葉を考えましょう。 ・お姉さんのようになりたい。 ・失敗をすることがある。 ・謝りたい。・許したい。	○ハートカードを場面絵に 貼り、一人一人の価値の 捉え方を表出させる。 ○許すべきなのは分かっ ていても容易には許せない 気持ちに、共感できるよ うにする。 ○学校での出来事とは逆の 立場になったことを確認 する。ノートに考えを書 かせた後、グループで考 えを交流し、全体での話 し合いにつなげる。イメ ージマップへの書き込み も行っていく。 ○お姉さんの行動を支えて いる気持ちや考え方が、 けい子の中にどのような 変容を生んだのかを考え させる。 ☆ア ○テーマに対する「発見」 や「納得」を共有するこ とで、深い学び合いがで きたことを価値付ける。
終末	3 今日の学習を 振り返る。	○「分かった」「変わった」「自分も」「これか ら」を意識して考えてみましょう。 ・広い心をもつには、相手の気持ちを考えるこ とが大事だと分かった。 ・自分も失敗することがあるから、許したい。	○めあてに返り、生活の中 で具体的な行動で考えら れるようにする。 ☆イ

(3) 評価

☆ア 失敗は誰にでもあり、それを許す心も必要であることに気が付いたか。 (発言)

☆イ 他者に対する寛容な気持ちに共感し、進んで生活に生かそうとしているか。 (発言・ノート)